

コルヒチン錠 0.5 mg 「タカタ」

【この薬は？】

販売名	コルヒチン錠 0.5 mg 「タカタ」 COLCHICINE 0.5mg Tablets
一般名	コルヒチン Colchicine
含有量 (1錠中)	0.5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、白血球、特に好中球の作用を抑えます。これにより、痛風発作を和らげたり、予防したりします。また、家族性地中海熱の治療にも使用されます。
- ・次の病気の人に処方されます。

痛風発作の緩解および予防

家族性地中海熱

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にコルヒチン錠 0.5 mg 「タカタ」に含まれる成分で過敏な反応を経験した

ことがある人

- ・肝臓や腎臓に障害のある人で、肝臓の分解（代謝）酵素である CYP3A4 を強く阻害する薬（アタザナビル、クラリスロマイシン、インジナビル、イトラコナゾール、ネルフィナビル、リトナビル、サキナビル、ダルナビル、テリスロマイシン、テラプレビル、コビススタットを含有する製剤）、または薬の排泄に関与する P 糖蛋白を阻害する薬（シクロスポリン）を使用中の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（家族性地中海熱の場合を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
- ・肝障害のある人
 - ・腎障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・衰弱の著しい人（特に腎疾患、胃腸疾患、心疾患がある人）
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

【痛風発作の緩解及び予防の場合】

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量と 飲む回数	6～8錠（1日6回または8回に分けて飲みます） 発病予防には1～2錠
一回量	発作予感時には1錠

- ・痛風発作の発現後、飲み始めが早いほど効果的です。
- ・長期間にわたる痛風発作の予防のための使用は、血液障害、生殖器障害、肝・腎障害、脱毛などの重篤な副作用があらわれる可能性があり、有用性が少なくすすめられていません。
- ・使用量が増えると下痢などの胃腸障害の発現が増加するため、痛風発作の緩解に使用する場合は、通常、成人の飲む量は1日1.8mgまでが望ましいとされています。
- ・痛風発作の治療には1回1錠を飲み、痛みが和らぐまで3～4時間ごとに飲みます。
- ・痛風発作の3～4時間前に先行する予兆を感じたら、できるだけ早く飲んでください。

【家族性地中海熱の場合】

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量	1錠 最大3錠まで
飲む回数	1日1回または2回に分けて飲みます

通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一日量	体重 1 kgあたり 0.01～0.02mg 体重 1 kgあたり最大 0.03mg まで かつ成人の 1 日の最大投与量を超えません
飲む回数	1 日 1 回または 2 回に分けて飲みます

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

悪心（おしん）・嘔吐（おうと）、腹部痛、激的な下痢、咽頭部・胃・皮膚の灼熱感、血管障害、ショック、血尿、乏尿、著明な筋脱力、中枢神経系の上行性麻痺、せん妄、けいれん、呼吸抑制による死亡などの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・多く使用したり、間違えて飲んだりした場合、急性中毒の症状が飲んでから数時間以内であらわれることがあります。医師から指示された用法・用量を厳守して使用してください。
- ・血液障害、腎障害、肝障害、横紋筋融解症、ミオパチー、末梢神経障害などがあらわれることがありますので、この薬の使用中は定期的に血液検査、生化学検査、尿検査などが行われ、これらの異常の有無が確認されます。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

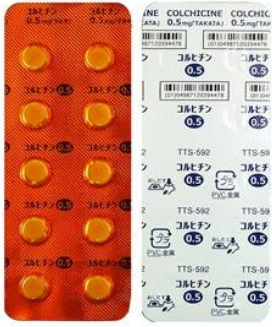

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血、 さいせいふりょうせいひん けつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい
顆粒球減少 かりゅうきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少	

はっけつきゆうげんしょう	
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
ミオパチー	痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下
末梢神経障害 まつしょうしんけいしょうがい	運動のまひ、感覚のまひ、手足のしびれ、手足の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、脱力感、痛み、運動のまひ、感覚のまひ
頭部	めまい
顔面	鼻血、
口や喉	歯ぐきの出血、のどの痛み
胸部	階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸
手・足	手のしびれ、足のしびれ、手足のしびれ、手足のこわばり、手足の痛み
皮膚	あおあざができる、皮下出血
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下
尿	赤褐色尿
その他	出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	コルヒチン錠 0.5 mg 「タカタ」
PTP シート	
形状	<p>円形の錠剤</p> 
直径	約 7.0mm

厚さ	約 2.1mm
重さ	約 0.11g
色	青色
識別コード	TTS-592

【この薬に含まれているのは？】

販売名	コルヒチン錠 0.5 mg 「タカタ」
有効成分	コルヒチン
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、バレイショデンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム、青色 1 号

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：高田製薬株式会社

(<http://www.takata-seiyaku.co.jp/>)

学術部

電話：0120-989-813

受付時間：8時30分～17時20分

（土、日、祝祭日、弊社休業日を除く）